

1 親切運動の取組の紹介

(1) 「いいねの木」の活動

自分や友達の内面的なよさに目を向け、付箋に書いたものを「いいねの木」に貼って掲示する活動を取り入れた。これにより、今まで伝えられていなかった思いが見える形となり、互いに称賛し合う姿がみられた。また、自他を思いやる温かい心が芽生えた。



(2) 共同募金活動

世界中の困っている子供たちを助けるための募金がしたいと、運営委員会の子供たちがドラえもん貯金箱を利用して募金活動を行った。寄付されたお金がどんなところに使われるのか、集会を計画して劇形式で紹介した。回収日には、多くの子供たちが募金を持ってきた。委員会の子供たちは、「計画してよかった。みんなが持ってきてくれたのが嬉しい。来年も続けたい」と話していた。



(3) 地域との活動

本校はコミュニティースクールとして、地域の方々と一緒に活動する機会が多い。日頃から地域の方が子供たちの様子を気にかけてくださり、様々な活動に協力いただいている。例えば、学校田の植え付けや収穫体験を一緒に行っている。「地域感謝集会」には、手紙を書いて感謝の気持ちを伝えている。このような温かい気持ちと感謝の気持ちが往還することによって、子供たちの優しい心が育まれている。

(4) 縦割り班活動

本校では、色団活動や清掃活動等、他の学年との縦割り活動を盛んに行っている。清掃時には、上級生が下級生に用具の使い方を丁寧に教える姿がみられる。また、校区内を探検する「とねりこオリエンテーリング」では、上級生が後ろを確認しながら下級生を見守って歩き、一緒にクイズを解いたり遊んだりして絆を深めている。上級生が中心となって活動の準備を行い、他の学年の友達を思いやりながら充実した時間を過ごすことができている。



2 親切活動に取り組んで

○ 取組の成果

様々な活動を通して、異学年同士の交流が生まれ、相手のよいところを知れたことで互いを大切にできる温かい気持ちが育ってきている。

○ 課題と今後に向けて

活動の意義を伝えることや活動後の振り返りを充実させたい。また、子供たちの思いを大切にしながら活動の精査を行い、よりよい活動を継続していきたい。